

ATG Film NO. 2 Exhibition

2007 6.14(木) → 6.17(日)

入場料: ¥500 (4日間通しチケット・各回定員600名)

会場: 京都芸術劇場 春秋座 (京都造形芸術大学内)



モデレーター.. 毛利臣男、榎本了巻

六月十四日(木) 実相寺昭雄『無常』一九七〇年
アフタートーク.. 林海象
十八時開演

六月十五日(金) 大島渚『儀式』一九七一年
アフタートーク.. 佐藤真
十八時開演

六月十六日(土) 黒木和雄『竜馬暗殺』一九七四年
アフタートーク.. 高橋伴明
十四時開演

六月十七日(日) 高林陽一『金閣寺』一九七六年
アフタートーク.. 葛井欣士郎
十四時開演

※各回アフタートーク終了後にサイン会あり

同時開催: 6月13日(水)~17日(日) 10時~18時『ATGポスター 葛井欣士郎コレクション』展 京都芸術劇場 ホワイエ 入場無料

ATG Film Exhibition No.2

2007 **6.14**(木) **6.17**(日)

入場料：¥500 (4日間通しチケット・各回定員600名)
 会場：京都芸術劇場 春秋座 (京都造形芸術大学内)
 ※ 中学生以下のご入場はご遠慮下さい。

同時開催
 六月十三日(水)十七日(日)十時~十八時
 (映画上映時は、公演終了まで)
 『ATGホスター 葛井欣士郎コレクション』展
 京都芸術劇場 ホワイエ(京都造形芸術大学内)
 入場無料

葛井欣士郎 (映画演劇プロデューサー)

1960年代の新宿を背景に“激動の時代”を過ぎたATG映画。
 そして、70年代“挫折を経て内省の時代”、監督達は東京を離れ、
 映画発祥の地・京都を背景に、その地のアルチザンと共に成熟した
 新しい映画を創り始めた。

毛利臣男 (京都芸術劇場 芸術監督)

1960年代末~70年代初頭、私がまだ学生の頃…、ダイナミックな時代の鼓動や
 息吹を生で感じたい思いから劇場に頻りに通い、映画や演劇の虜になっていました。
 当時、劇場は創造する人間の情熱で満ち溢れる世界でした。昨年に引き続き、
 2回目となる今回、京都を中心に製作された映画4作品を上映します。
 私が当時感じた喜びと情熱を京都芸術劇場・春秋座で皆様と一緒にもう一度
 味わう事が出来たら幸いです。

無常



1970年/35mm/モノクロ・スタンダード/146分
 企画・葛井欣士郎/製作プロ・実相寺プロ、ATG/製作・
 淡豊明、実相寺昭雄/監督・実相寺昭雄/脚本・石堂
 淑朗/撮影・稲垣通三、中掘正夫、大根田和美/音楽・
 冬木透/美術・池谷仙克/出演・田村亮、司美智子、
 山村弘三、河東けい、岡田英次、佐々木功、菅井きん、
 寺田農、小林昭二

ウルトラマン等数々のテレビ名作を手がけた実相寺昭雄監督の劇場用長編第1作。日本人の無常感をテーマに、日本の風土の中で近親相姦を通じて、人間の精神の原動力を探ろうとした意欲作。無常とはなにか、罪とはなにかといった問いをエロチシズムで大膽な手法で描き、ATGの新しい貌を作り出した大ヒット作品。
 1970年度カルム国際映画祭グランプリ

儀式



1971年/35mm/カラー・ワイド/123分
 製作プロ・創造社、ATG/製作・葛井欣士郎、山口卓治/監督・大島渚/脚本・田村孟、佐々木守、大島渚/撮影・成島東一郎/音楽・武満徹/美術・戸田重昌/出演・河原崎建三、賀来敦子、佐藤慶、乙羽信子、小山明子、小松方正、渡辺文雄、中村敦夫

創立十周年を記念して日本ATGが創造社と提携製作し、大島渚が戦後25年を総括する意味を込めて世に問うた野心作。日本伝統そのものである冠婚葬祭という儀式を通して、名門桜田家に集まる複雑な血縁関係者が織りなす人間模様と、この一族を包んで流れていった歳月のなかに、混沌と動乱に満ちた昭和の時代と日本人の心情をさぐるとするもの。敗戦後の日本を舞台に、家父長制度の中で生きることを強いられた若者たちの苦悩を描く傑作。
 1971年度キネマ旬報日本映画作品賞、監督賞、脚本賞、男優賞/1971年度毎日映画コンクール脚本賞、音楽賞、録音賞

竜馬暗殺



1974年/35mm/モノクロ・スタンダード/118分
 製作プロ・映画同人社、ATG/製作・黒田征太郎、富田幹雄、葛井欣士郎、宮川幸至/監督・黒木和雄/脚本・清水邦夫、田辺泰志/撮影・田村正毅/音楽・松村禎三/美術・山下宏/出演・原田芳雄、石橋蓮司、中川梨絵、松田優作、桃井かおり

明治維新の志士・坂本竜馬の暗殺に至る3日間を新しい解釈で、彼の暗殺に至る最後の3日間を扱った異色の時代劇。幕末という動乱期を背景に、暗殺された坂本竜馬の死をめぐって、その真実、その背後にある無名戦士たちの生と死、青春の栄光と孤独、繁栄と悲慘を描く。奇妙な人間関係が織り成す青春模様は70年頃の学園紛争の新左翼の青年達の姿をも重ねあわせる秀作。

金閣寺



1976年/35mm/カラー・スタンダード/109分
 企画・葛井欣士郎/製作プロ・たかばやしういちプロ、映像京都、ATG/製作・高林輝雄、西岡善信/原作・三島由紀夫/監督・脚本・高林陽一/撮影・森田富士郎/美術・西岡善信/出演・篠田三郎、島村佳江、柴俊夫、加賀まり子、市原悦子

京都西陣生まれの、高林陽一によるATG映画二作品目。三島由紀夫の同名小説を高林が脚色し監督した。市川崑監督「炎上」に次ぐ二度目の映画化。金閣寺を美の象徴として憧憬していた青年が、金閣寺の徒弟となつてから、自らの金閣寺を焼失させるまでの心の屈折を描いた耽美的官能冒険の色濃いつき。金閣寺炎上と三島自決を見てしまった高林自身の青春を投影し市川崑版よりも空虚感の色合いが強い、ヒット作。

モデレーター： 毛利臣男 (京都芸術劇場 芸術監督・空間演出家)
 榎本了彦 (京都造形芸術大学教授情報デザイン学科長・クリエイティブディレクター)

- 6月14日(木) 18時開演 17時30分開場
 実相寺昭雄『無常』1970年
 アフタートーク：林海象(映画監督)
- 6月15日(金) 18時開演 17時30分開場
 大島渚『儀式』1971年
 アフタートーク：佐藤真(ドキュメンタリー映画監督)
- 6月16日(土) 14時開演 13時30分開場
 黒木和雄『竜馬暗殺』1974年
 アフタートーク：高橋伴明(映画監督)
- 6月17日(日) 14時開演 13時30分開場
 高林陽一『金閣寺』1976年
 アフタートーク：葛井欣士郎(映画演劇プロデューサー)

チケット
 全席自由席 前売り・当日とも ¥500(4日間通しチケット) 中学生以下の方のご入場はご遠慮下さい。

チケット取扱
 京都芸術劇場チケットセンター tel:075-791-8240(平日10:00~17:00) e-mail:ticket@kuad.kyoto-art.ac.jp

電子チケットぴあ
<http://t.pia.co.jp> tel:0570-02-9999(Pコード 477-601)10:00~18:00

お問い合わせ：
 京都造形芸術大学 劇場企画運営室(担当：倉岡、上田)
 〒606-8271京都市左京区北白川瓜生山2-116 tel:075-791-9207 fax:075-791-9438 <http://www.k-pac.org/>
 会場にて「ATG Film Exhibition No.1・No.2 Commentary (永久保存版)」(ATG封切全作品のインデックス付き)
 カタログを¥500にて限定販売!

—ATG Film Exhibition No.2 関連企画—
 映画学科新設記念映画祭!! (全6回)
 第1回目 8月4日(土) 高橋伴明監督、女優 高橋恵子さん登場!!
 上映予定作品『TATTOOおひげの光の雨』
 2回目以降のゲスト予定 俳優 戸川幸夫さん、林海象監督、木村威夫美術監督、他
 通し券(6回)5,000円 1回券 一般1,500円 学生・シニア1,000円
 会場：京都芸術劇場 春秋座 問合せ:075-791-9353 (映画学科研究室)



会場アクセス：
 ◇JR「京都」駅、京阪「三条」駅、阪急「河原町」駅から
 →京都市バス5番「岩倉」行き乗車、「上終町・京都造形芸大前」
 下車(京都駅から約50分、三条駅・河原町駅から約30分)
 ◇市営地下鉄「丸太町」・「北大路」駅から
 →京都市バス204循環に乗り、「上終町・京都造形芸大前」下車(約15分)
 ◇京阪電鉄「出町柳」駅から
 →叡山電鉄に乗り換え、「茶山」駅下車、徒歩10分。
 →タクシーで10分
 ◇駐車場はございません。



映画に映作品

スケジュール